



Cisco NX-OS のパスワード回復手順

Password Recovery Procedure for Cisco NX-OS

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、Cisco NX-OS で動作するデバイスのコンソールポートから、失われたネットワーク管理者パスワードを回復する方法について説明します。

Cisco NX-OS ソフトウェアは、Cisco SAN-OS ソフトウェアをベースにしたデータセンタークラスのオペレーティングシステムです。Cisco NX-OS ソフトウェアはデータセンターのルーティング、スイッチング、およびストレージネットワークの各要件に対応し、Cisco IOS ソフトウェアと同様に Extensible Markup Language (XML; 拡張マークアップ言語) インターフェイスと Command-Line Interface (CLI; コマンドラインインターフェイス) を提供します。

目次

このマニュアルでは、次の内容を説明します。

- 「前提条件」 (P.2)
- 「ネットワーク管理者パスワードの回復」 (P.2)
- 「関連資料」 (P.7)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.7)

前提条件

ここでは、回復手順を実行するための前提条件について説明します。内容は次のとおりです。

- 「要件」(P.2)
- 「表記法」(P.2)

要件

2つのスーパーバイザ モジュールを搭載したデバイスの場合、回復手順の完了後にアクティブ モジュールになるスーパーバイザ モジュールでパスワード回復手順を実行する必要があります。他方のスーパーバイザ モジュールがアクティブにならないようにするには、次の作業のいずれかを実行します。

- 他方のスーパーバイザ モジュールをシャーシから取り外します。
- 回復手順が完了するまで、他方のスーパーバイザ モジュールのコンソール プロンプトを次の2つのプロンプトのいずれかに変更します。
 - loader >
 - switch(boot) #



(注) これらのプロンプトの詳細については、ご使用のデバイスのマニュアルを参照してください。

表記法

表記法の詳細については、次の URL にある『Cisco Technical Tips Conventions』を参照してください。
http://www.cisco.com/application/pdf/paws/17016/techtip_conventions.pdf

ネットワーク管理者パスワードの回復

次のいずれかの方法で、ネットワーク管理者パスワードを回復できます。

- network admin 権限を持つユーザ名で CLI から回復する
- デバイスの電源を再投入する

ここでは、次の内容について説明します。

- 「network admin 権限での CLI の使用」(P.3)
- 「デバイスの電源の再投入」(P.3)

network admin 権限での CLI の使用

network admin 権限で Command Line-Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) を使用するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ユーザ名に network admin 権限があるかどうかを確認します。

```
switch# show user-account
user:admin
    this user account has no expiry date
    roles:network-admin

user:dbgusr
    this user account has no expiry date
    roles:network-admin network-operator
```

ステップ 2 ユーザ名に network admin 権限がある場合は、新しいネットワーク管理者パスワードを割り当てます。

```
switch# configure terminal
switch(config)# username admin password <new password>
switch(config)# exit
switch#
```

ステップ 3 コンフィギュレーションを保存します。

```
switch# copy running-config startup-config
```

デバイスの電源の再投入

network admin 権限のあるデバイス上でセッションを開始できない場合は、次の 2 つの手順を実行し、デバイスの電源を再投入してネットワーク管理者パスワードを回復する必要があります。

- 「方法 1」 (P.4)
- 「方法 2」 (P.6)



注意

パスワード回復手順を実行すると、デバイス上のすべてのトラフィックが中断されます。デバイスとの接続はすべて 2 ~ 3 分間切断されます。



(注)

- 管理インターフェイスとの Telnet または Secure Shell (SSH; セキュア シェル) セッションから管理者パスワードを回復することはできません。ローカル コンソール接続を使用する必要があります。また、Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチなど、スーパーバイザ モジュールで Connectivity Management Processor (CMP; 接続管理プロセッサ) をサポートする Cisco NX-OS デバイスの場合、CMP 管理インターフェイスを使用して管理者パスワードを回復することはできません。
- パスワードの回復によって更新されるのは、ローカル ユーザ データベース内の新しい管理者パスワードのみです。リモート AAA サーバのパスワードは更新されません。新しいパスワードは、ローカル認証がイネーブルの場合にのみ有効になり、リモート認証の場合は有効になりません。パスワードが回復すると、コンソールからのログインに対するローカル認証がイネーブルになり、管理ユーザはコンソールから新しいパスワードでログインできるようになります。

方法 1

デバイスの電源を再投入してネットワーク管理者パスワードを回復する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 アクティブ スーパーバイザ モジュールのコンソール ポートで端末セッションを確立します。



(注) US キーマップ以外のキーマップを使用している場合は、ブレイク シーケンスの生成に必要なキー シーケンスを押しても動作しない可能性があります。この場合、ご使用の端末を US キーマップに設定することを推奨します。キーボードの割り当てには、**Ctrl+]** ではなく **Ctrl+C** を入力できます。

ステップ 2 SSH またはターミナル エミュレータを使用してコンソール ポートにアクセスする場合、あるいは Cisco NX-OS Release 4.0(0)N1(2a) 以前のリリースを実行している Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでパスワードを回復する場合は、**ステップ 6**に進みます。

ステップ 3 Telnet を使用してコンソール ポートにアクセスする場合、**Ctrl+]** を押して、Telnet エスケープ シーケンスと競合しないようにします。

```
switch login: Ctrl-]
```

Cisco NX-OS ログイン プロンプトがそのままの状態、Telnet プロンプトが表示されない場合は、**ステップ 6**に進みます。

ステップ 4 Telnet プロンプトが表示される場合は、Telnet エスケープ シーケンスを **Ctrl+]** 以外の文字シーケンスに変更します。次に、Microsoft Telnet で **Ctrl+** をエスケープ キー シーケンスとして設定する例を示します。

```
telnet> set escape ^\  
Escape Character is 'CTRL+\'
```

ステップ 5 Enter を 1 回または複数回押して Cisco NX-OS ログイン プロンプトに戻ります。

```
telnet> <Enter>  
switch login:
```

ステップ 6 デバイスの電源を再投入します。

ステップ 7 デバイスで Cisco NX-OS ソフトウェアのブート シーケンスが開始されたときに、コンソール ポートセッションから **Ctrl+]** キー シーケンスを押して **switch(boot)#** プロンプトモードを開始します。システムイメージがロードされているとわかったら、**Ctrl+]** を押す必要があります。



(注) Cisco NX-OS 4.0(0)N1(2a) 以前のリリースを実行している Cisco Nexus 5000 シリーズでは、**Ctrl+]** ではなく、**Ctrl+B (Ctrl+Shift+B)** を使用します。

```
...  
Executing Mod 1 2 SEEPROM Test....done  
  Mod 1 2 Post Completed Successfully  
  Mod 3 Post Completed Successfully  
POST is completed
```

```
Checking all filesystems....r. done.  
Ctrl-]  
switch(boot)#
```

ステップ 8 ネットワーク管理者パスワードを再設定します。

```
switch(boot) # configure terminal
switch(boot-config) # admin-password <new password>
WARNING! Remote Authentication for login through console has been
disabled
switch(boot-config) # exit
switch(boot) #
```

ステップ 9 bootflash: の内容を表示して、Cisco NX-OS ソフトウェア イメージ ファイルを見つけます。

```
switch(boot) # dir bootflash:
```

ステップ 10 Cisco NX-OS システム ソフトウェア イメージをロードします。

次の例では、システム イメージ ファイル名は `nx-os.bin` です。

```
switch(boot) # load bootflash:nx-os.bin
```

ステップ 11 新しい管理者パスワードを使用してデバイスにログインします。

```
switch login: admin
Password: <new password>
```

実行コンフィギュレーションにより、コンソールからのログインに対してローカル認証がイネーブルになっていることが示されます。新しいパスワードを今後もログインの際に有効にするため、実行コンフィギュレーションは変更しないでください。AAA サーバ上で設定した管理者パスワードを再設定して記憶したら、リモート認証をイネーブルにできます。

```
switch# show running-config aaa
!Command: show running-config aaa
!Time: Fri Feb 5 02:39:23 2010

version 5.0(2)
logging level aaa 5
aaa authentication login ascii-authentication
```

ステップ 12 Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) パスワードとしても使用できるようにするために、新しいパスワードを再設定します。

```
switch# configure terminal
switch(config) # username admin password <new password>
switch(config) # exit
switch#
```

ステップ 13 必要に応じて、前に取り外したスタンバイ スーパーバイザ モジュールをシャーシに取り付けます。

ステップ 14 必要に応じて、スタンバイ スーパーバイザ モジュールで Cisco NX-OS キックスタート イメージを起動します。

次の例では、キックスタート イメージ ファイル名は `nx-os_kickstart.bin` です。

```
loader# boot bootflash:nx-os_kickstart.bin
```

ステップ 15 必要に応じて、スタンバイ スーパーバイザ モジュールで Cisco NX-OS システム ソフトウェアをロードします。

次の例では、システム イメージ ファイル名は `nx-os.bin` です。

```
switch(boot) # load bootflash:nx-os.bin
```

ステップ 16 コンフィギュレーションを保存します。

```
switch# copy running-config startup-config
```

方法 2

デバイスの電源を再投入してネットワーク管理者パスワードを再設定できます。



注意

この手順を実行すると、デバイス上のすべてのトラフィックが中断されます。デバイスとの接続はすべて 2 ~ 3 分間切断されます。



(注)

- 管理インターフェイスとの Telnet または SSH セッションから管理者パスワードを回復することはできません。ローカル コンソール接続を使用する必要があります。また、Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチなど、スーパーバイザ モジュールで Connectivity Management Processor (CMP; 接続管理プロセッサ) をサポートする Cisco NX-OS デバイスの場合、CMP 管理インターフェイスを使用して管理者パスワードを回復することはできません。
- パスワードの回復によって更新されるのは、ローカル ユーザ データベース内の新しい管理者パスワードのみです。リモート AAA サーバのパスワードは更新されません。新しいパスワードは、ローカル 認証がイネーブルの場合にのみ有効になり、リモート 認証の場合は有効になりません。パスワードが回復すると、コンソールからのログインに対するローカル 認証がイネーブルになり、管理ユーザはコンソールから新しいパスワードでログインできるようになります。

デバイスをリロードしてネットワーク管理者パスワードを再設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 アクティブ スーパーバイザ モジュールのコンソール ポートで端末セッションを確立します。

ステップ 2 **reload** コマンドを使用してデバイスをリロードし、ローダ プロンプトに到達します。次のメッセージが表示されたら、**Ctrl+C** を押す必要があります。

```
Booting kickstart image: bootflash:/n7000-s1-kickstart.x.x.x.bin....
```



(注)

スイッチのブート中にキックスタート イメージのロードを停止するには、**Ctrl+C** を押す必要があります。

```
switch# reload
This command will reboot the system. (y/n)? [n] Y
2011 Feb  1 13:09:56 switch %$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-PFM_SYSTEM_RESET: Manual system
restart from Command Line Interface
writing reset reason 9,
..
..

GNU GRUB  version 0.97

Autobooting bootflash:/n7000-s1-kickstart.x.x.x.bin bootflash:/n...
Filesystem type is ext2fs, partition type 0x83
Booting kickstart image: bootflash:/n7000-s1-kickstart.x.x.x.bin....(----> Press Ctrl + C)
....Aborting Image Boot

GNU GRUB  version 0.97

Loader Version 3.22.0

loader>
```

- ステップ 3** スイッチ ブート プロンプトに到達するには、キックスタート イメージだけでデバイスを再起動します。

```
loader> boot n7000-s1-kickstart.x.x.x.x.bin
  Filesystem type is ext2fs, partition type 0x83
  Booting kickstart image: n7000-s1-kickstart.5.1.2.gbin....
  .....
  .....Image verification OK
  ..
  ..
  Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
  such license is available at
  http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
  http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
  switch(boot)#
```

- ステップ 4** 「方法 2」 (P.6) のステップ 8 ~ 16 を実行して、ネットワーク管理者パスワードを再設定します。

関連資料

Cisco.com の次の URL で、Cisco NX-OS ソフトウェアのマニュアルを入手できます。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps9372/tsd_products_support_series_home.html

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

このマニュアルは、「関連資料」の項に記載されているマニュアルと併せてご利用ください。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

© 2008-2011 Cisco Systems, Inc.
 All rights reserved.

Copyright © 2008-2011, シスコシステムズ合同会社.
 All rights reserved.

